



# 西中学校だより

令和4年6月7日  
東久留米市立西中学校



## 第54回運動会が終わりました

校長 藪野 勝久

心配されていた天候にも恵まれ、6月4日（土）は晴れ渡る晴天の中、第54回運動会を無事感動的に終わることができました。今年度は競技を午前中に実施し、午後は閉会式のみという時程での開催でした。そして昨年度同様、全学年がそろって実施することができ、保護者の皆様のご理解とご協力のお陰と、感謝申し上げたいと思います。

今年度も内容は精選された種目となり、100m走・200m走・色別対抗リレーの選抜個人種目と、最後を飾る学年代表による4×100mリレー・4×200mリレーを除いては、すべて団体種目で構成しました。

団体種目は1・2・3年の各全員リレーに加え、1年団体種目『いかだ流し』、2年とI組団体種目『大縄跳び』、3年団体種目『大ムカデ』、それに昨年度から始まった『8の字跳び』は全学年同時の実施でした。皆、少なく限られた準備期間の中で無駄なく効率的に練習に励んだことで、当日もほぼ予定通りの進行となりました。



【 8の字跳び 】

さて、運動会の教育的意義とは何かと問われれば、先ず本校の運動会実施計画の目的にも示した通り、何よりもスポーツに親しみ、そのことを通して体力の向上を図ること、そして運動会に関する学習成果を公開することを通して地域や保護者の皆様に対して、本校への理解を深めることにそれがあると考えます。

ところでスポーツに親しむためにはスポーツとどのように関わるか、と言う関り方の視点、そして、今後スポーツとどのように関わろうとするかという生涯スポーツの視点が指導には欠かせません。一般にはスポーツは『する』ことをすぐに想起しがちです。「スポーツとどのように関わっていますか」といった質問に対しても一般的に言って「はい、ジョギングで毎晩5km走ってます」とか、「週3回、夜ソフトバレーをやっています」などといった答えを想像できることがそれを証明しているように思えます。

しかし、中学校の保健体育科ではスポーツとの関わりを『する』だけではなく『見る、支える、知る』という4つの視点で捉えて指導しています。親しむためにはその良さが分からなければなりません。そのスポーツの良さを理解するためには上述した4つの視点からの良さを理解させることが必須だということです。『する』ことだけに視点が合ってしまうと、スポーツが得意な人だけのものになってしまい勝ちです。プロ選手のようにはできなくても、好きなプロサッカーチームや野球チームのテレビ中継を見たり（『見る』）、調べたり（『知る』）、応援したり（『支える』）して親しむのと同様に、スポーツを実際行わなくとも様々な視点で競技を捉えることで親しみをもつことができます。

同様に運動会でも、自分のクラスや「8の字跳び」では同じクラスカラーの他学年を応援することで学級や先輩、後輩を『支える』こともあります。また、どうしたら「8の字跳び」をより多く飛べるか同じクラスカラーの先輩に聞いたり、インターネットを活用してノウハウを『知る』こともあります。こうした多様な視点でスポーツの良さを捉える、

その視点の獲得は運動会の重要な教育的意義と言えます。

もう一つの運動会の意義は、団体種目における取組を通して、仲間と目的を一つにして集団の一員としてより良い人間関係を築こうとする態度を養うことや、望ましい集団を形成しようとする態度を養うことにこれがあります。今年度もそれぞれのクラスが団結して努力することの大切さを学び、連帯感や協力する心も育ったように見えます。こうした団体競技を通して、集団におけるそれぞれの間関係や各クラスを牽引するリーダーとそれを支える集団との関係が徐々に変化するなど、今後の学校生活での自治活動にもつながり、日頃の教育活動では得られない、個人と集団の成長に期待をしています。

また、今年度も各クラスの代表が組織する体育委員が実行委員会を務め、運営に当たりました。放送や各種目の用具の出し入れ、召集なども生徒が主体となり、準備の段階から当日の運営までを熱心に、そして組織的に行うことができました。どんなスポーツでも競技に注目し勝ちですが、係活動でもそれぞれに活躍し、達成感のあった生徒も少なくなかったと捉えています。

こうして今運動会を振り返ると、自分たちの運動会を自分たちで築いていこうとする集団としての自治力の向上、そして様々な活動場面で成長など様々な変容が見られました。今後も正義の通る集団の育成とよき社会人の育成に全力を尽くしてまいりますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 感動的だった運動会

今年度は、参観者が「原則各家庭2名まで」という制限ありの開催となりました。さわやかな運動会日和の中、生徒たちは



【1年 いかだ流し】



【2年 大縄跳び】

全力を出し切り、達成感、充実感のある素晴らしい運動会にすることができました。

「一生懸命はかっこいい」こんな気持ちで全校生徒が、競技だけでなく、開会式やラジオ体操、応援、各係の仕事、閉会式に取り組みました。

また、今年度は、新種目として縦割り学級での「色別対抗リレー」も実施いたしました。

残念ながら、練習時間の不足の為か？新記録は出ませんでした。来年度に期待いたします。



【開会式 校旗入場】



【3年 大むかで】